



大田区立小池小学校 学校だより



<https://www.ota-school.ed.jp/koike-es/>

体験を重ねること



六月の行事予定



校長 横山 圭介

先月20日から、5年生の伊豆高原学園移動教室がありました。昨年までコロナウイルス感染症の影響で、学年2分割、1泊2日という形での実施でしたが、今回は5年ぶりに全クラスの児童が2泊3日の生活を共にし、都会とは異なる豊かな自然環境の中で体験活動を楽しむことができました。

移動教室の目的は、「平素とは異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む」ことです。小学生にとって、保護者の元をはなれて宿泊するということは、まさに「平素と異なる生活環境」です。起床から身支度、食事の準備など、普段は当たり前のようにしてもらっていることを、自分で行わなければなりません。

昨年までの1泊2日の宿泊では、不慣れな寝具の準備、片付けや、時間を守ってグループ単位で行動することなどに戸惑うだけで終わってしまうこともありました。しかし、3日間という時間があると、こどもたちは体験をしてそれを振り返り、失敗を反省して次の行動では改善を図るということができるようになります。大食堂での食事の準備でも、初日は学校と異なる状況に時間がかかりましたが、友達と声を掛け合い、役割分担をしながら取り組むうちにコツをつかんで、どんどん手際よくなっていきました。こどもたちにとって体験を重ねることがいかに重要であるかが分かります。

また、宿泊行事では友達との関係も深まります。集団で生活を作っていくことで、友達の存在の大切さを実感し、協調、協力しようとする姿勢が育つからです。学校のリーダーである高学年がスタートするこの時期に、友達との濃密な時間が過ごせたことは、必ず今後の行動に生かされていくことでしょう。

こどもたちの自主・自律につながる体験は、宿泊行事などの特別な場面だけに求めるのではなく、学校や家庭の日常生活の中にも意識して設定していくことが重要です。体験から得た力は、それを発揮する場面を繰り返し設けることで、より確実な力として育っていきます。そのために、高学年になってからではなく低学年段階から、こどもの力でできることを少しずつ任せていくことを大切にしていきたいと考えます。

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	全校朝会 個人面談⑥ 昼休みなし
4	火	個人面談⑦ 昼休みなし 5時間授業 1年生5時間授業始
5	水	音楽鑑賞教室(5年)
6	木	遠足(1年) 耳鼻科健診(4. 5. 6年)
7	金	安全指導 校内研究会のため特別時程 午前授業
8	土	
9	日	
10	月	放送朝会 委員会 昼休みなし
11	火	代表委員会 遠足予備日(1年)
12	水	音楽朝会 避難訓練 校外研究会のため特別時程 午前授業
13	木	クラブ活動 昼休みなし 5時間授業
14	金	朝のなかよしタイム
15	土	
16	日	
17	月	放送朝会 水泳指導始
18	火	昼のなかよしタイム
19	水	運動朝会 クラブ
20	木	社会科見学(4年)
21	金	スピーチ大会(2年) こころの劇場(6年)
22	土	
23	日	
24	月	放送朝会
25	火	
26	水	児童集会 自転車教室(3. 4年)
27	木	5時間授業 学習発表会リハーサル・前日準備
28	金	学習発表会(児童鑑賞日) 5時間授業
29	土	学習発表会(保護者鑑賞日) 5時間授業
30	日	

※7月1日(月)は振替休業日になります。

※スクールカウンセラー相談日

山本 有見子 6日(木) 13日(木) 27日(木)
小川 水菜子 7日(金) 14日(金) 21日(金)

